

鴨川市江見3地区学校施設等統合整備検討委員会第2回会議の概要について

前回会議の概要

議事（1）江見3地区学校施設等の施設整備（案）について

江見3地区統合小学校及び幼保一元化施設の設計業務を請け負った榎本建築設計事務所の担当者が出席し、施設整備計画（案）を説明した。はじめに旧江見中学校施設の整備計画（案）を、次に幼保一元化施設の整備計画A案、B案の説明をそれぞれ行い、その後、施設毎に質疑応答や要望等が行われた。

委員から出された意見・質問等について

① 江見3地区統合小学校の施設整備計画（案）について

- ・ 示された案では、1年生は2クラスだが、進級すると2年生以降は1クラスになるのかという質問があった。クラス編成の上で通常は40人学級であるが、1年生に限っては、適応等の問題もあることから特別に35人学級とすることができる説明を行った。
- ・ 教室の配置計画について、基本構想や具体的な教室の利用目的等について説明を求める意見があり、例えば、準備教室は何の教科の準備で使うのか、少人数教室は何のために使用する部屋なのかといった質問があった。教室の配置については、意見として伺い、次回会議までに修正案に反映させていくことを説明し、少人数教室は少人数の学習で効果があがる授業で活用すること、準備室は理科や家庭科のように、実験器具や調理器具などの器具類が多い教科の器具を収納し、教室の安全を確保していることを説明した。
- ・ 小学校代表の委員に先生の立場から意見を求めたところ、学童の部屋は1階にした方が良い。特別教室は並んでいた方が良い。グラウンドが遠くなるので遊具は教室に近くなるような配慮をお願いしたい。1・2年生は一緒の階が良い。資料室や高学年用の更衣室、体育倉庫などの確保、理科室と家庭科室の準備室についてなどで要望があった。
- ・ 現時点で想定される全面改修の事業費について質問があり、設計事務所担当者から全体で4億4千万円を見込んでいると説明した。これについて、40年前の建築物を耐震補強しても、コンクリートの耐用年数が何年あるのかわからないし、同じ事業費を懸けるのであれば、現在の人数規模に対応したもので、木造校舎等でも構わないので使い勝手の良い校舎を建て替えることはできないのかという意見をいただいた。

設計事務所からは、同規模の校舎を建て替えた場合は、事業費は12億円ぐらいとなる。コンクリートについては、事前調査を実施しており、現在の基準でも問題はないので、安心していただきたいと説明した。

- ・ 学童保育の部屋について、提示案の2階ではなく、1階奥の理科室に配置する案、幼保一元化施設の中に配置する案などの意見をいただいた。検討し、次回に提示する案に反映することとなった。

- ・ 多目的トイレについて質問があり、現在は体育館のみ設置されているため、校舎棟にも整備を計画しており、介助を必要とする児童がいる場合は、市として対応していくことを説明した。
- ・ 用務員の部屋について質問があり、宿直室と表示されている部屋が用務員休憩室になることを説明した。
- ・ 各部屋の構造が同じであるならば、教室の配置は校長先生にお任せして良いのではないかと。ここで検討するのは、全体的な問題にポイントをしばってはどうかという意見をいただいた。
- ・ 改修工事の内容として、耐震、内外装、トイレ全面改修、階段の全面改修の説明があったが、内外装工事の内容はどの程度を予定しているのか質問があった。
外装については、汚れている部分の全面塗装と雨漏り、防水関係工事の実施を考えていること。内装については、なるべく塗装を行うことでリフレッシュしたような印象をつけていきたいが、詳細は今後詰めていきたいという考えを説明した。
また、現場の職員の方々からも意見・要望を伺い、できる限り対応していきたい旨を説明した。
- ・ 耐震工事の方法について確認があり、鉄骨ブレースによる補強を行うこと、最近の事例では東条小や天津小の事例のようなイメージになることを説明した。

②幼保一元化施設の施設整備計画について

- ・ 地域子育て支援室の設置目的について質問があり、将来認定こども園に移行した場合に（移行することを前提に考えた場合に）そのスペースが必要となるものであり、このスペースをすぐに使っていくというものではない状況であること。当分の間は、地域の方たち、在宅でお子さんを育てている方たちに、開放日等で利用していくことを回答した。
- ・ 幼保一元化施設の園庭について、4、5歳児の子どもたちの活動や保幼小の連携を考えた場合、園庭と小学校の校庭とが、フェンス等の簡単な扉くらいでつながっていけるような設計・園舎の向きだと、子どもたちの活動の幅が大変広がるのではという意見があった。
- ・ 幼保一元化施設の衛生管理上の観点から見た構造について、調理室で作った食事または給食は、外廊下を通して運ぶのではなく、建物の中を通して各クラスに届けられるように考えていただきたいという意見があった。
- ・ A案における部屋の配置について、2歳から5歳までの保育室が横に並んでおり、午後からの生活のリズム、流れが、保育園側と幼稚園側とで多少活動が異なる時間帯があり、お互いに遠慮しながら、活動を進めていくようなことにならないのか不安があるとの意見があった。
- ・ A案における部屋の配置について、4、5歳児の保護者の迎えが2時半頃にあるが、お昼寝をしている2、3歳児教室の前を保護者が通って迎えに入ることになったり、4、5歳児でもお昼寝をする子としない子がいたりする等の問題点があるのではないかとという意見があった。
- ・ 建物の階層について、安全面や何かを考慮した場合、2階建てではなく、平屋

造りの方が好ましいという意見があり、委員長が「平屋のほうで意見を反映させていく方向でよいか。」と問うたところ、同意があり、今後は平屋を前提として意見要望を出していくこととなった。

- ・ 建物の構造について、2つに分けなければいけないのか、ロータリーを歩いて小学校近くに入入口があるのではなく駐車場から一番近いところから入る方法はないのかという意見があった。
- ・ 学校教育課長より、
 - ・ 前回、園庭と校庭の区分について、小学校の子どもさんの動き等が心配
 - ・ 小学校の方から子どもの動きが死角になるようではいけないという点を考慮し、設計事務所にてこのような案を考えたこと。
また、園舎の向きは、採光・採風等を考えて提案をしていただいたことの説明があった。
- ・ 施設の部屋に表示されている子どもの数はどういう設定なのか質問があり、過去の保育園での保育実績数や将来認定こども園を想定した人数設定を行っていることを説明した。人数を表示することで将来的に縛られることも想定されるので、人数の表示はしない方が良いのではないかと意見をいただいた。
- ・ 施設の延べ床面積について質問があり、市としては1,000 m²程度を目標に施設整備計画を取りまとめていく方針を説明した。
- ・ 既存の保育園、幼稚園では女性用トイレしかなかったが、現在、幼稚園や保育園でも男性職員が採用され始めており、保護者参観等でもお父さん方の参加が増えていることから将来を考えて男性トイレを整備して欲しいという要望があった。事務局からは、今回提示したプランにも採用されていることを説明した。
- ・ 新しく整備される幼保一元化施設に、備蓄倉庫や太陽光発電を整備し、災害時には地域の人々が活用できるような考えはできないかという要望があり、事務局からは消防防災課で地域防災計画の見直しを行っているところであり、地域からこのような意見があった旨を伝えていくことを説明した。
- ・ ロータリーに関連して、学校敷地内を通る市道への対応、幼稚園・保育園送迎時の保護者の利便性、子どもたちの安全対策などへの配慮について多数の意見をいただいた。ロータリーの位置や使用する時間帯、幼稚園・保育園の送迎方法なども含めて検討していくこととなった。

議事（2）その他

次回会議について、9月20日（金）午後7時から市役所7階会議室で開催することで日程調整を行った。

その他、委員から出された意見・質問等について

- ・ 設計のプロである設計士と教育のプロである先生方で事前に話し合って施設整備計画（案）を作成していただき、会議では、そのプランに対して委員が疑問を投げかける形とした方が効率的に進められるのではないかと。会議の場で先生方からも、委員からも意見が出るとまとまらなくなってしまうので、事前に調整をお

願いたいという意見をいただいた。

- 会議を江見中学校で開催することはできないかという要望があり、また、長い間施設を見ていないので見てみたいといった要望もあったことから、次回会議日に、夕方4時から江見中学校の見学会を設定することにし、希望者に参加していただくことにした。